



生駒市立上中学校

校長室だより

第7号 令和7年11月28日

校長 眞井 英司

奈良県生駒市上町 3000 番地

12月10日は世界人権デーです。

冷たい風が吹き始め、冬の寒さが身にしみる季節となりましたが、生徒の皆さんは、日々の学校生活の中で、友人と協力し、学びを深めていることと思います。



さて、この時期、私たち全員が改めて心に留めるべき大切なテーマがあります。それは、毎年12月10日の「世界人権デー(Human Rights Day)」と、それにちなんだ12月4日から10日までの「人権週間」です。

世界人権デーは、1948年に国連で「世界人権宣言」が採択された日を記念しています。この宣言は、人間であれば誰もが、肌の色や国籍、性別、考え方などに関わらず、「生まれながらにして自由であり、尊厳と権利において平等である」という、人権の普遍的な原則を示しています。

これは、皆さんが安心して学校で学び、自分の意見を持ち、個性を伸ばしていける権利を、誰も奪ってはならないという、人類共通の約束です。

学校を見渡すと、一人として同じ人はいません。考え方、得意なこと、背景など、さまざまな「違い」があります。人権の尊重とは、この「違い」を否定したり排除したりするのではなく、積極的に認め合うことです。多様性は、集団や社会を豊かにする力であり、互いの違いから学び合うことで、私たちはより大きく成長できます。違いを恐れるのではなく、「力」として活かす意識を持ちましょう。

そして、私たちが日常で使う「言葉」は、人権を尊重する上で、最も身近で大きな力を持っています。言葉は、人を励まし、心を繋ぐ「光」にもなれば、人の尊厳を深く傷つける「刃」にもなります。この人権週間では、特に皆さんに「言葉のバリアフリー」を意識してほしいと願っています。

ユーモアや冗談のつもりでも、相手が少しでも不快に感じるなら、それはすでに相手の人権を侵害している可能性があります。自分の発言に責任と優しさを持たせ、温かい言葉、誰かの心を支える言葉を選ぶことを心がけましょう。

皆さんの日常の小さな行動、そして一人ひとりの温かい言葉が、学校全体、そして未来の平和で公正な社会を築く大きな力となることを信じています。

この一週間が、皆さんの心に温かい光を灯し、人権の尊厳について考える大切な機会となることを願っています。



保護者の皆様へ

○2学期の三者懇談を、12月18日(木)より実施いたします。ご多忙の折とは存じますが、お子様の2学期の学習状況や生活面について、担任と情報共有させていただく大切な機会となりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

○全国学力・学習状況調査の詳しい分析資料を、本校のホームページにアップロードいたしました。今後の教育活動の方向性に活用いたします。ぜひご覧ください。

○現在、奈良県内でインフルエンザの感染が非常に拡大しています。学校では、引き続き教室の換気徹底と感染予防に努めてまいります。ご家庭におかれましても、手洗い・うがい、十分な睡眠や休養など、感染拡大防止へのご理解とご協力をお願いいたします。



換気しよう



マスクしよう



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう